

# 人間関係の質が働きがいの原動力

耶馬溪製作所 植村 ななみ（うえむら ななみ） さん

## 【インタビューの概要】

船や発電所、空港などで使用されるブレーカーを製造している耶馬溪製作所。私たちの生活に欠かせないブレーカーの組立等を担当している植村 ななみさんにお話を伺いました。



はんだ付けの作業を行う植村さん

## ●入社背景と仕事で大切にしていること

植村さんは、もともと手先が器用で自分には細かい作業やモノづくりが向いていると思い、同社に入社した。ブレーカーを組み立てる仕事を始めてから約5年経ったが、1日の目標生産量を達成できた瞬間に最も充実感を得られると語った。また、生産する製品などによって仕事の流れが変わり、前後の工程を担当する同僚の進捗状況を見ながら作業する必要もあるため、臨機応変に仕事ができるようになったそうだ。なお、仕事の流れが日々変化するため、報告・連絡・相談がより重要であり、この点を常に意識しているとのことであった。

## ●入社当時の不安と今

「はんだ付けの作業に慣れるまで時間がかかった」と植村さんは入社当日を振り返る。また、ブレーカーの基盤は高価なので、失敗できないという緊張感を常に抱えていたそうだ。しかし、同社が開催したはんだ付けの研修会を経て、植村さんは技術力を高め、はんだ付けの資格を取得するまでに至った。現在、社員の安全性への配慮が行き届いた職場で落ち着いて作業をしている植村さんの姿が印象的であった。

## ●耶馬溪製作所の魅力と今後の抱負

植村さんは、会社の好きなところとして、「人間関係の良さ」を挙げた。また、気さくに話しかけてくれる上司や同僚が多く、相談がしやすい職場だと語った。人間関係の質が高いと、会社に貢献したいという気持ちも高まる。それが、同僚への自発的な協力と感謝の言葉、自分自身の働きがいにつながるのお話であった。

最後に、今後の抱負として、「様々な作業を覚えて何でもできるようになり、同僚に頼られたい」と植村さんは語った。